

岐阜県充電インフラビジョンの方向性について

【目的】

岐阜県内全域を電気自動車（以下「EV」という。）の行動範囲とするため、県内に充電インフラのネットワークを確立する。

今回策定するビジョンでは、岐阜県内で充電器の設置推進方針とその対象となる場所を指定します。

【EV・PHVタウン推進マスタープランの内容】

- ・岐阜県は、道の駅の次世代エネルギーインフラ化等を推進し、急速充電設備の県内5圏域への普及を図る。
- ・参画市町村は、公営駐車場や公共施設等への急速充電器の設置に努める。
- ・民間企業は、2010年度からの国等の助成制度を活用し、急速充電器の設置を推進する。
- ・民間企業は、2011年度からの国等の助成制度を活用し、県内全域のホテル、ショッピングセンター、駐車場等へ普通充電器の設置を推進する。

【市町村の希望】

- ・道の駅への設置
- ・役場や公民館、文化施設等の公共施設、公共駐車場への設置
- ・観光地、大型商業施設への設置
- ・ガソリンスタンド、コンビニエンスストア等店舗
- ・主要幹線道路沿い
- ・駅

【ビジョンの方向性 案】

1. 公共性がある場所及び経路充電拠点として設置が望まれる地域を指定する。
2. 道の駅の数が全国で2番目に多い（54箇所）という立地条件を活かした道の駅への充電器設置。
3. 庁舎駐車場や公営駐車場など不特定多数の人が駐車できる場所への整備。
4. ドライバーが長時間滞在する観光地や商業施設への整備を推進する。

高速道路については中日本高速道路株式会社が別途ビジョンを策定する方針です。

【設置推進場所 候補】

- ・道の駅（県内54箇所＋建設予定地1箇所）
- ・市役所、役場
- ・公共施設（公民館、図書館、病院、文化センター、スポーツ施設等）
- ・公共駐車場（公営・民営とも）
- ・大型商業施設（複合型商業施設、スーパーマーケット、ホームセンター等）
- ・観光地（白川郷、奥飛騨温泉郷、高山市、下呂温泉、郡上八幡、美濃市うだつの上がる町並み、恵那峡、長良川温泉等）